

**原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ
戦略的原子力共同研究プログラム 事後評価総合所見**

| <p>研究課題名：電気化学的吸着脱離によるコンパクトで再利用可能なセシウム分離回収システム 研究代表者（研究機関名）：田中 寿（独立行政法人産業技術総合研究所） 再委託先研究責任者（研究機関名）：栗原 正人（国立大学法人山形大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：渡邊 雅之（独立行政法人日本原子力研究開発機構）</p> <p>研究期間及び研究経費：平成23年度～平成25年度（3年計画） 78百万円</p> | |
|--|--|
| 項目 | 要 約 |
| 1. 研究の概要 | セシウムの吸着材料として研究されてきたヘキサシアノ金属錯体塩を新たにナノ粒子イソキ化する技術、および電気化学的吸着脱離反応を用いて、放射性廃棄物の低減に貢献する、コンパクトで繰り返し利用が可能な選択的・可逆的セシウム分離回収システムの構築を目指す。 |
| 2. 総合評価 | <p style="text-align: center;">A</p> <p>有機系を使うシステムは耐放射線性に大きな課題があるが、本提案システムは基本的に耐放射線性に利点があり、基礎研究レベルであった研究内容を実用化を想定した条件での研究へ進め、高レベル放射性廃液の処理処分過程に新しい可能性を開く優れた成果が挙げられている。最終的に回収したCsの処分・安定化が具体化され、実用化されることを期待する。</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている A) 優れた成果が挙げられている B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんど挙げられていない</p> |